

令和4年産

大崎稲作情報 第6号

令和4年7月13日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

- ✓ 稲の生育量を判断して追肥を行いましょ
- ✓ 間断かん水を行いましょ
- ✓ いもち病や斑点米カメムシ類防除に努めましょ

1. 気象経過

7月第1半旬は高温多照でしたが7/4には雷雨によるまとまった降雨があり、地域によっては突風が吹きました。7月第2半旬は気温は、平年よりやや高め、日照時間は平年並み、降水量は少なめとなりました

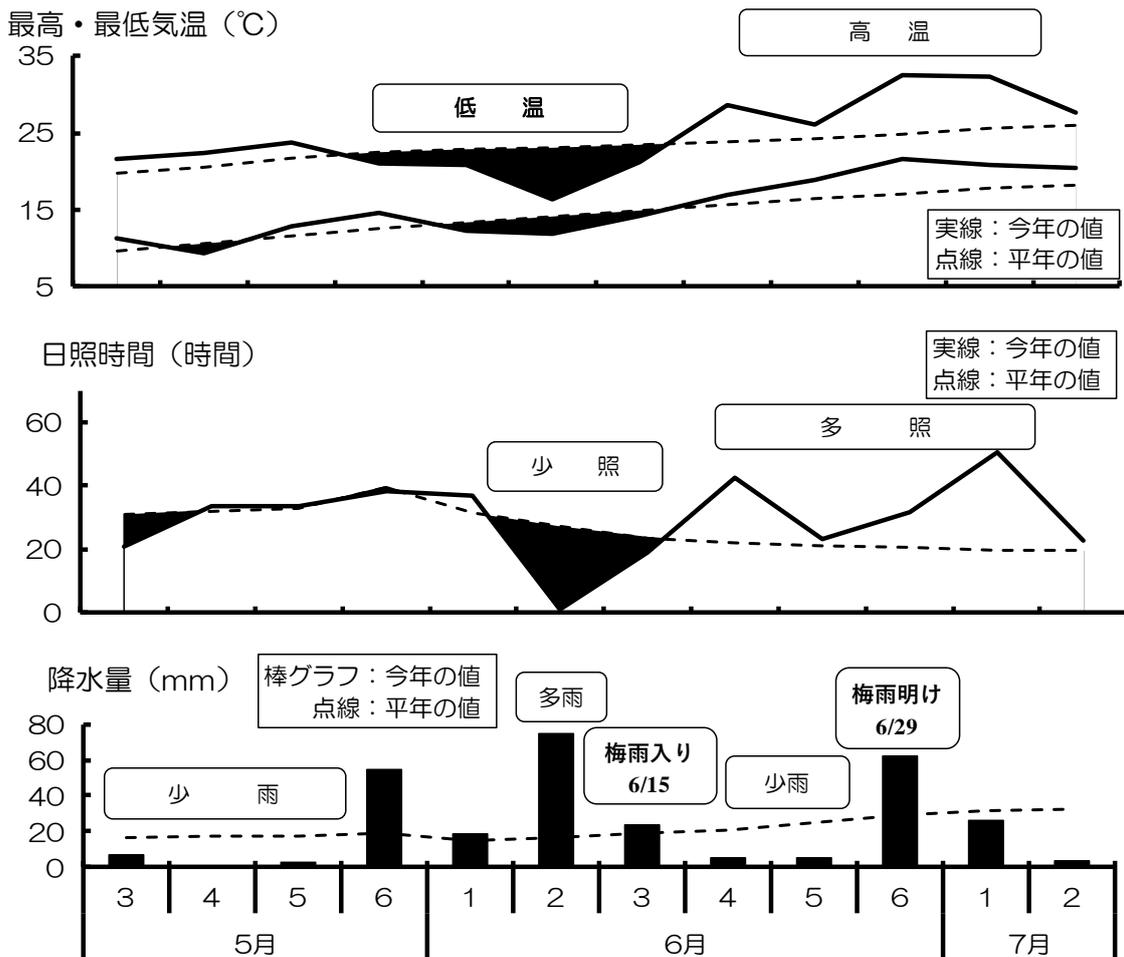


図1 5～7月の気象 (古川アメダス)

2. 生育概況（7月11日現在）

7月上旬の好天により生育は順調で、莖数は平年を下まわるものの、草丈は平年を上回っています。葉数はほ場により差がありますが、移植栽培では全ての調査ほ場で幼穂が確認されており、5月上旬に移植されたほ場は幼穂形成始期に達しています。葉色は全てのほ場で平年または前年を下まわりました。

表1 生育調査結果

品種名	地区名	草丈(cm) (平年比)	莖数(本/㎡) (平年比)	葉数(枚) (平年差)	葉色(SPAD) (平年差)	幼穂長(mm) 幼穂形成始期 (平年差)	備考 幼穂形成始期
ひとめぼれ	大崎市三本木	69.2 (107%)	514.6 (93%)	10.5 (-0.2)	41.1 (-0.3)	4.0 7月5日	2日早い
ひとめぼれ	加美町小野田	67.7 (114%)	488.9 (86%)	11.3 (+0.8)	40.9 (-2.6)	0.7 (-0.7)	
ササニシキ	大崎市古川	63.5 (100%)	496.3 (82%)	11.2 (+0.3)	38.6 (-3.6)	1.4 7月9日	2日早い
つや姫	色麻町四竈	74.7 (117%)	555.9 (97%)	11.7 (+1.2)	40.6 (-2.0)	1.1 7月11日	前年比・差 4日早い
だて正夢	大崎市三本木	71.9 (103%)	373.1 (72%)	10.8 (-0.4)	37.8 (-5.7)	0.3 (-0.3)	前年比・差
金のいぶき	大崎市三本木	69.9 (111%)	453.9 (79%)	11 (-0.4)	36.6 (-1.5)	0.3 (-1.1)	前年比・差
まなむすめ	加美町宮崎	67 (111%)	526.3 (96%)	10.6 (-0.1)	33.4 (-4.8)	3.2 7/7	3日早い
ゆきむすび	大崎市鳴子温泉	48.3 (92%)	294.5 (91%)	9.5 (0.0)	42.5 (-2.9)	0.6 (-1.1)	前年比・差
みやこがねもち	大崎市岩出山	61.7 (107%)	520.7 (95%)	11.3 (+0.4)	34.2 (-3.3)	0.4 (+0.4)	
ひとめぼれ (湛水直播)	加美町米泉	59 (113%)	629 (112%)	9.9 (+0.4)	39.2 (-1.2)	0 (0)	
平均 (平年値のあるほ場のみ)		65.8 (108%)	509 (90%)	11.0 (+0.2)	37.6 (-2.9)	1.9	

※平年比・差は前5か年（平成29年～令和3年）の平均値との比較

3. 出穂予想

今後の天候が平年並みであると仮定すると、中生品種の**出穂期は8月5日頃**の見込みです。

今後の天候により、生育ステージが予測値から変動することがありますので、ほ場の幼穂長を確認し、随時生育ステージを把握することに努めましょう。

表2 生育ステージの予測

田植時期	田植始期	田植盛期	田植終期	7/11現在,7/11以降はアメダス平年値で予測。今後、高温で推移する場合は、予測よりも早まる場合がある。
幼穂形成始期	5月2日	5月9日	5月17日	
減数分裂期	7月7日	7月10日	7月15日	
出穂期	7月18日	7月21日	7月25日	
	始期	最盛期	終期	
平年(10中8力年)との差	8月2日	8月5日	8月9日	
	3日遅い	2日遅い	平年並み	

※対象品種は「ひとめぼれ」「ササニシキ」

4. 今後の管理

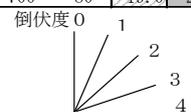
1) 追肥 追肥は生育量を判断して施用

生育量が不足している（葉色が薄い、茎数不足等）場合には、追肥が必要です。過剰な追肥は倒伏や病害虫の誘発へとつながります。追肥をする際は、生育量（葉色の濃さ、倒伏診断指標等）を判断して行いましょう。（追肥の効果や目安については稲作情報第5号を参照してください。）

表3 「ひとめぼれ」「ササニシキ」の倒伏診断指標

幼穂形成期(草丈×m ² 茎数×葉色;10 ⁵)							減数分裂期(草丈×m ² 茎数×葉色;10 ⁵)								
茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉緑素計値 (SPAD502型)					茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	葉緑素計値 (SPAD502型)						
		38	40	42	44	46	48			34	36	38	40	42	44
600	50	11.4	12.0	12.6	13.2	13.8	14.4	550	60	11.2	11.9	12.5	13.2	13.9	14.5
600	55	12.5	13.2	13.9	14.5	15.2	15.8	550	65	12.2	12.9	13.6	14.3	15.0	15.7
600	60	13.7	14.4	15.1	15.8	16.6	17.3	550	70	13.1	13.9	14.6	15.4	16.2	16.9
600	65	14.8	15.6	16.4	17.2	17.9	18.7	550	75	14.0	14.9	15.7	16.5	17.3	18.2
600	70	16.0	16.8	17.6	18.5	19.3	20.2	550	80	15.0	15.8	16.7	17.6	18.5	19.4
600	75	17.1	18.0	18.9	19.8	20.7	21.6	550	85	15.9	16.8	17.8	18.7	19.6	20.6
600	80	18.2	19.2	20.2	21.1	22.1	23.0	550	90	16.8	17.8	18.8	19.8	20.8	21.8
700	50	13.3	14.0	14.7	15.4	16.1	16.8	600	60	12.2	13.0	13.7	14.4	15.1	15.8
700	55	14.6	15.4	16.2	16.9	17.7	18.5	600	65	13.3	14.0	14.8	15.6	16.4	17.2
700	60	16.0	16.8	17.6	18.5	19.3	20.2	600	70	14.3	15.1	16.0	16.8	17.6	18.5
700	65	17.3	18.2	19.1	20.0	20.9	21.8	600	75	15.3	16.2	17.1	18.0	18.9	19.8
700	70	18.6	19.6	20.6	21.6	22.5	23.5	600	80	16.3	17.3	18.2	19.2	20.2	21.1
700	75	20.0	21.0	22.1	23.1	24.2	25.2	600	85	17.3	18.4	19.4	20.4	21.4	22.4
700	80	21.3	22.4	23.5	24.6	25.8	26.9	600	90	18.4	19.4	20.5	21.6	22.7	23.8
800	50	15.2	16.0	16.8	17.6	18.4	19.2	650	60	13.3	14.0	14.8	15.6	16.4	17.2
800	55	16.7	17.6	18.5	19.4	20.2	21.1	650	65	14.4	15.2	16.1	16.9	17.7	18.6
800	60	18.2	19.2	20.2	21.1	22.1	23.0	650	70	15.5	16.4	17.3	18.2	19.1	20.0
800	65	19.8	20.8	21.8	22.9	23.9	25.0	650	75	16.6	17.6	18.5	19.5	20.5	21.5
800	70	21.3	22.4	23.5	24.6	25.8	26.9	650	80	17.7	18.7	19.8	20.8	21.8	22.9
800	75	22.8	24.0	25.2	26.4	27.6	28.8	650	85	18.8	19.9	21.0	22.1	23.2	24.3
800	80	24.3	25.6	26.9	28.2	29.4	30.7	650	90	19.9	21.1	22.2	23.4	24.6	25.7
900	50	17.1	18.0	18.9	19.8	20.7	21.6	700	60	14.3	15.1	16.0	16.8	17.6	18.5
900	55	18.8	19.8	20.8	21.8	22.8	23.8	700	65	15.5	16.4	17.3	18.2	19.1	20.0
900	60	20.5	21.6	22.7	23.8	24.8	25.9	700	70	16.7	17.6	18.6	19.6	20.6	21.6
900	65	22.2	23.4	24.6	25.7	26.9	28.1	700	75	17.9	18.9	20.0	21.0	22.1	23.1
900	70	23.9	25.2	26.5	27.7	29.0	30.2	700	80	19.0	20.2	21.3	22.4	23.5	24.6

倒伏危険域
 I 倒伏度2を超える確率5~20%
 II 倒伏度2を超える確率20~50%
 III 倒伏度2を超える確率50%以上



※ 倒伏診断指標は、「草丈×m²あたり茎数×葉緑素計値÷100,000」により算出。

2) 水管理 幼穂の発育には水の吸収が不可欠

- ✓ 幼穂形成期に達したほ場は間断かん水を行いましょう。特に、減数分裂期～出穂期前後は水の吸収量が最も多い時期となります。この時期に水分が不足した場合、幼穂の発育や開花受精が妨げられる恐れがあります。そのため、低温時を除いて十分に酸素と水を供給しましょう。
- ✓ 低温時（日平均気温 20℃以下が長期間続く、または最低気温 17℃以下）の際は障害不稔が発生する恐れがありますので、深水管理としましょう。

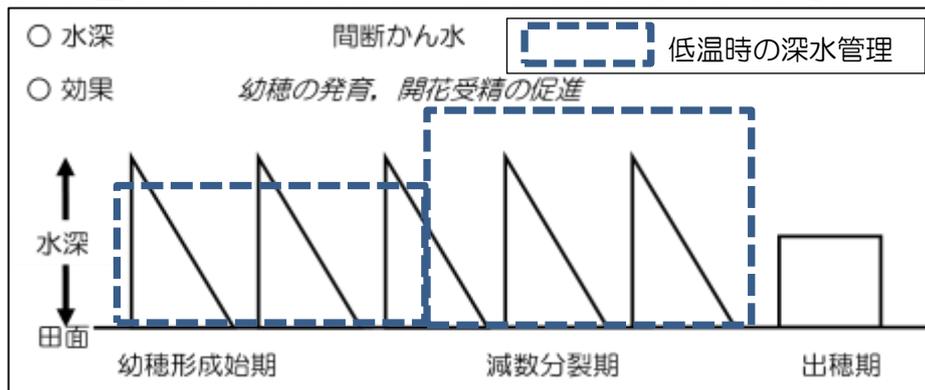


図2 今後の水管理

乾田直播栽培情報

乾田直播栽培の生育調査を行いました。

草丈は42 cm，莖数は608本/m²，葉数は8.4枚，葉色は37.4でした。6月下旬以降の好天により，順調に生育が進んでいます。



7/1の生育



7/11の生育

乾田直播栽培現地情報交換会を開催しました。

乾田直播栽培取組農家を対象に現地情報交換会を開催しました。乾田直播栽培は管内では取組事例が少ないため，農家同士の情報交換を図りながら，現地巡回指導を行ったものです。乾田直播ほ場の生育状況や耕種概要を説明後，今後の管理について古川農業試験場の研究員の助言をもらいながら4カ所巡回しました。

